

つきたいか

1. 探究的な学習を通じた、「自ら学ぶ」、「自ら考える」力
2. 場に応じた最適なICTツールを選択する力
3. ICTツールを活用した実践的な表現力

取組みの概要・ポイント

総合的な学習の時間や、各教科等の時間に、ICT機器を効果的に取り入れた探究的な学習を行う場面を設定し、「自ら学ぶ」、「自ら考える」自律的な学習を促すとともに、探究の成果を、ICTツールを活用して発表する場面を多く設定し、社会で通用する発表スキルの習得を目指す。

具体的な取組みの内容

1. テーマ決定～ゼミ分属

- ・インターネット検索や文献調査（学校図書館）を行い、1年間自身が取り組むテーマについて検討
- ・テーマ決定後は、テーマに応じたゼミに分属
- ・ゼミ分属後は、それぞれのゼミ教員の指導の下、自身のテーマに基づいた探究活動の実施

ICT活用ポイント① 情報にいつでもアクセス！！

情報検索したものをクラウド上に整理分類して保存。いつでも参照、グループ内で資料の共有がしやすくなった。

ICTを活用した総合的な学習で「とことん探究的に学んでみよう！」チャレンジ

ICT活用ポイント② 広がる学び！！

休業中でも、タブレットPCから探究活動を進める中で疑問に思ったことなどをゼミ担当教員へ送信。教員からアドバイスが送られてくる。

夏期休業中もタブレットPCを通じて、ゼミ担当教員と情報交換！



2. 中間発表～探究の再調整

- ・ゼミ毎にPowerPointを用いた中間発表の実施
- ・発表後には、自身の発表についてのアンケート結果の分析
- ・自身の探究のスケジュールを再調整し、追研究の開始



自らのパフォーマンスを視覚化

藤井寺中学校版「探究的な学習」

先進校の事例（大阪教育大学附属天王寺中学校）をベースにアレンジ

年間カリキュラム
授業資料編はこちら



ICT活用ポイント③ 即時フィードバックで自己調整！！

中間発表した後で、タブレットPC上のフォームで「発表ルーブリック」をもとにその場で相互評価。すぐに共有して自分自身のパフォーマンスについてふりかえることができる。

3. 大阪府立中央図書館への文献調査～大学講師によるプレゼン講習会

- ・探究に関する専門書籍を事前に検索、校外学習を活用し大阪府立中央図書館を訪問、文献調査
- ・プレゼンの専門家による実演講習会の実施

4. 「探究的学習」本発表会

- ・保護者にも公開して「探究的学習」発表会を実施（2日間）
- ・Wordを用いて、A4 1枚分で自身の探究活動のまとめ報告書の作成
- ・下級生との合同ゼミの実施



【探究テーマの例】（日本十進分類表より分類番号 分類）

- ・藤井寺市内の公園に多く分布する花について（47 植物）
- ・信号にかからず歩かための速さ（68 交通・輸送）
- ・色が人に与える影響とは（72 絵画・書道）
- ・「大阪弁」の地域性について（80 言語）
- ・より質のいい睡眠をとるためには（49 医学・人体・薬学）
- ・なぜ感情は行動や表情に出してしまうのか（14 心理）
- ・テニスボールの軌道による跳ね方の違い（78 スポーツ・体育）



取組みを通しての子どもの変容

- ・探究活動を通して、自分の探究内容に必要な様々なICTツールを自分で選択し、活用できるようになった。（ICT操作スキルの向上）
- （例） アンケート調査時におけるICTツールを活用したアンケート作成、データ分析時におけるグラフ作成、動画編集・動画からの静止画の切り出し 等
- ・探究的な学習における数回のプレゼン発表や、大学講師によるプレゼン講習会を通して、プレゼン発表時において、PowerPointで作成するプレゼンデータだけでなく、ジェスチャーや言葉の発し方、抑揚などを意識するプレゼンが数多く見られるなど、聞き手を意識して自分に研究成果を伝えようとするプレゼンが増えた。（問題解決力、情報発信力など「情報活用能力」の向上）

「ICT機器
基本的な操作」編



ふじいでら情報活用能力
小中連携指導体系表
**Hop! Step!
Jump! Go!**

「情報モラル・情報
セキュリティ」編



ICT活用ポイント④

いつでもどこでもアウトプットができる便利な文房具！！

集めた情報をもとにして、自分が思考していることをスライドやムービーを作り、その場にいるクラスメートに即プレゼンしたり、写真や画像、音声動画入りの文書にしてまとめたりできる。作成物はクラウド上で共有。